KAYAKU Next Stage

中期CSRアクションプラン2019-2021とISO26000の関係

	ESG	No	CSR重要課題	中期CSRアクションプラン2019-2021	ISO26000との対応																		
					組織統治	人権								労働慣行					環境				
					課題1：意思決定プロセス	課題1：デューデリジェンス	課題2：人権に関する域的状況	課題3：加担の会費	課題4：苦情解決(※非該当)	課題5：差別及び社会的弱者	課題6：市民的及び政治的権利	課題7：経済的・社会的及び文化的権利	課題8：労働における基本的原則及び権利	課題1：雇用及び雇用関係	課題2：労働条件及び社会的保護	課題3:社会的対話(※非該当)	課題4：労働における安全衛生	課題5：職場における人材育成及び訓練	課題1：汚染の予防	課題2：持続可能な資源の活用	課題3：気候変動の緩和及び気候変動への適応	課題4：環境保護、生物多様性及び事前清掃の回復
最重要課題	S	1	事業を通じたイノベーション	●事業部門が一体となって市場への出口を見据えた研究開発を推進し、コア事業およびシナジー領域における新製品・新事業を創出する ●中長期的な研究開発テーマへ経営資源を投入し、基盤技術力を高めるとともに、将来の社会ニーズに応える															○	○	○
		2	品質と顧客の安全	●品質マネジメントシステムの継続的な改善と、現場力の強化を図り、品質管理・品質保証体制をより強固にする ●品質経営を推進し、生産技術・ノウハウのレベルアップと工程異常の低減を図る																	
		3	取引先のアセスメント	●CSR調達ガイドラインに基づき、環境面や社会面に配慮したサプライチェーン・マネジメントを実践する		◎	◎	○											○			
	E	4	エネルギー消費量と温室効果ガス排 水および廃棄物 水資源の利用の効率化 省資源に貢献する原材料利用	●省エネルギー・地球温暖化対策活動を推進し、2020年度環境目標を達成するとともに、2030年度の環境目標を策定する ●ISO14001の全社統合を図り、環境問題をリスクと機会と捉えた環境マネジメントを推進する															◎	◎	◎	
	G	5	職場の労働安全衛生	●安全衛生に関する基本ルールの徹底と、設備や作業手順の改善により、安全操業基盤をより強固にする ●健康経営を推進し、社員が生きいきと働けるワークライフ・バランスのとれた職場環境を提供する													◎		○			
		6	コンプライアンス	●企業活動を行う上での基本原則であるコンプライアンスを徹底し、公正な事業運営を遂行する ●腐敗防止に関する基本方針を整備し、高い倫理観を持つ風通しのよい企業風土を維持・強化する	◎			○		○	○	○	○									
重要課題	S	7	製品サービスの適切な情報提供	●各事業におけるレギュレーションを遵守し、お客様へ適切な情報と技術サービスを提供することで、当社グループのプレゼンスを向上させる																		
		8	雇用の維持・拡大と人材育成	●多様な人材の採用と効果的な人材配置および交流により、ダイバーシティ&インクルージョンを推進する ●継続的な人材育成により、ものづくり技術力の継承・強化と人材のグローバル化を図る		◎	◎			◎		○	◎	◎					◎			
		9	人権尊重とアセスメント	●社員をはじめサプライチェーンに関わるあらゆる人々の人権に配慮した事業運営を行う		◎	◎					○	◎	○	◎				◎			
		10	地域コミュニティ	●事業場のある地域社会とのコミュニケーションを積極的に行い、地域に根差した企業として共存・共栄を図る						○												
		11	経済パフォーマンス	●安定した利益を創出し社会に還元するとともに、経営資本として効率的に再投入することで持続的に成長し企業価値を高める	◎																	
	G	12	コーポレートガバナンス強化	●グループ全体のコーポレートガバナンスを強化し、透明性が高く健全な経営を行う	◎												○					
		13	事業継続性の確保	●事業に関わるさまざまなリスクへ対応し、生産体制の維持、原材料の適正確保、災害対策の強化により事業継続性を確保する	◎																	

	ESG	No	CSR重要課題	中期CSRアクションプラン2019-2021	ISO26000との対応																		
					公正な事業慣行					消費者課題							コミュニティ参画及び発展						
					課題1：汚職防止	課題2:責任ある政治的関与	課題3：公正な競争	課題4：バリューチェーンにおける社会的責任の推進	課題5：財産権の尊重	課題1：公正なマーケティング、真実の即した方よりのない情報及び契約慣行	課題2：消費者の安全衛生の保護	課題3：持続可能な消費	課題4:消費者に対するサービス、支援ならびに苦情及び紛争の解決	課題5: 消費者ﾃﾞｰﾀ母語及びプライバシー	課題6：不可欠なサービスへのアクセス（※非該当）	課題7：教育及び意識向上	課題1:コミュニティへの参画	課題2：教育及び文化	課題3：雇用創出及び技能開発	課題4：技術開発及び技術へのアクセス	課題5：富及び所得の創出	課題6：健康	課題7：社会的投資
最重要課題	S	1	事業を通じたイノベーション	●事業部門が一体となって市場への出口を見据えた研究開発を推進し、コア事業およびシナジー領域における新製品・新事業を創出する ●中長期的な研究開発テーマへ経営資源を投入し、基盤技術力を高めるとともに、将来の社会ニーズに応える							◎	◎											
		2	品質と顧客の安全	●品質マネジメントシステムの継続的な改善と、現場力の強化を図り、品質管理・品質保証体制をより強固にする ●品質経営を推進し、生産技術・ノウハウのレベルアップと工程異常の低減を図る		○					○		◎			○						
		3	取引先のアセスメント	●CSR調達ガイドラインに基づき、環境面や社会面に配慮したサプライチェーン・マネジメントを実践する			○	◎														
	E	4	エネルギー消費量と温室効果ガス排 水および廃棄物 水資源の利用の効率化 省資源に貢献する原材料利用	●省エネルギー・地球温暖化対策活動を推進し、2020年度環境目標を達成するとともに、2030年度の環境目標を策定する ●ISO14001の全社統合を図り、環境問題をリスクと機会と捉えた環境マネジメントを推進する																		
	G	5	職場の労働安全衛生	●安全衛生に関する基本ルールの徹底と、設備や作業手順の改善により、安全操業基盤をより強固にする ●健康経営を推進し、社員が生きいきと働けるワークライフ・バランスのとれた職場環境を提供する																		
		6	コンプライアンス	●企業活動を行う上での基本原則であるコンプライアンスを徹底し、公正な事業運営を遂行する ●腐敗防止に関する基本方針を整備し、高い倫理観を持つ風通しのよい企業風土を維持・強化する	○	○	○	○	○	○	○			○									
重要課題	S	7	製品サービスの適切な情報提供	●各事業におけるレギュレーションを遵守し、お客様へ適切な情報と技術サービスを提供することで、当社グループのプレゼンスを向上させる		○					○		◎			○						
		8	雇用の維持・拡大と人材育成	●多様な人材の採用と効果的な人材配置および交流により、ダイバーシティ&インクルージョンを推進する ●継続的な人材育成により、ものづくり技術力の継承・強化と人材のグローバル化を図る																		
		9	人権尊重とアセスメント	●社員をはじめサプライチェーンに関わるあらゆる人々の人権に配慮した事業運営を行う																		
		10	地域コミュニティ	●事業場のある地域社会とのコミュニケーションを積極的に行い、地域に根差した企業として共存・共栄を図る												○	◎	◎	○	○	○	○	○
		11	経済パフォーマンス	●安定した利益を創出し社会に還元するとともに、経営資本として効率的に再投入することで持続的に成長し企業価値を高める			○					○										
	G	12	コーポレートガバナンス強化	●グループ全体のコーポレートガバナンスを強化し、透明性が高く健全な経営を行う	○	○	○	○	○	○				○									
		13	事業継続性の確保	●事業に関わるさまざまなリスクへ対応し、生産体制の維持、原材料の適正確保、災害対策の強化により事業継続性を確保する				○															